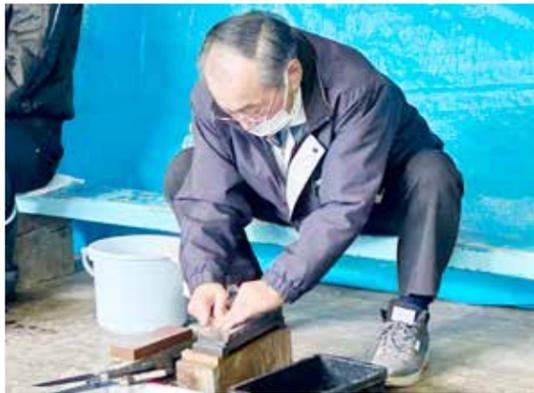


職人技で切れ味抜群 包丁研ぎボランティア

高齢者世帯などを対象とした包丁研ぎのボランティア活動が3月7日、役場営繕室で行われました。町民生委員・児童委員協議会と町技能協会が共同で行っている奉仕活動で今回は4年ぶり29回目。包丁98本を同協会の会員9人が、と石や電動研磨機を使って約2時間にわたり慣れた手つきで研ぎあげました。



茶道の作法を体験 児童センターでお茶教室

お茶教室が3月1日、児童センターで開かれました。講師にMOAインターナショナルの会員や町民生委員・児童委員を迎え、参加した子どもたち約80人は慣れない動きながらも、見事なお点前を披露。伊達桃代会長は「子どもたちが礼儀正しく作法を行う姿が立派でした」と話していました。



くりふとキッチンに出店

札幌ベルエポック製菓調理ウエディング専門学校

札幌ベルエポック製菓調理ウエディング専門学校の2年生が2月21日、栗山煉瓦創庫 くりふとに出店しました。同校は、町と食を通じた交流事業を実施しており、今回は栗山の食材を使用したクッキーやマドレーヌなどを提供。学生たちは「このような場で出店ができて楽しかったです」と話していました。



厳冬期の災害を想定した宿泊体験 冬季避難所開設訓練

冬季避難所開設訓練が2月18日～19日、カルチャープラザ「Eki」で行われました。防災士の資格を持つ町民や錦まちづくり協議会などから28人が参加。施設の電気や暖房が使用できない状況を想定して避難所生活・宿泊体験を実施し、災害に対する備えや防災意識向上を高める機会となりました。



4年ぶりに奏でる札幌の音色 ひなまつりコンサート

札幌ひなまつりコンサートが3月11日、スポーツセンターで開かれました。コロナ禍の影響により4年ぶりの開催となった今回は、指揮者の広上淳一さん、ピアニストの外山啓介さんが参加。ガーシュウインの「ラプソディ・イン・ブルー」などを披露し、来場者約800人を魅了していました。



自慢の歌や舞いを披露 高齢者演芸会

町老人クラブ連合会主催の高齢者演芸会が3月8日、カルチャープラザ「Eki」で開かれました。コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となった今回は25組45人が参加し、歌謡や民謡、踊りなどで日頃の成果を発揮。詩吟を披露した吉田輝雄さんは「久々の開催で、楽しいステージでした」と話していました。



詐欺被害未然防止に貢献

セブンイレブン栗山松風店・笹浪和博さん

セブンイレブン栗山松風店の店長・笹浪和博さんに栗山警察署から2月24日、感謝状が贈られました。笹浪さんは高齢者が高額電子マネーを購入しようとしたため、使い道などを尋ねたところ詐欺に巻き込まれているのではと思い警察に通報。後日詐欺であったことが判明し、被害の未然防止に繋がりました。



地域活動研究報告会

北海道介護福祉学校

栗山煉瓦創庫 くりふとで2月21日、地域活動研究報告会が開催されました。本活動は、北海道介護福祉学校の2年生25人が3グループに分かれ、町内を学びのフィールドとし、1年間活動。「ユニバーサルデザインの必要性」「地域交流の場の提供」など、活動で学んだ地域課題や解決策を提言しました。

